

平成 22 年度第 3 回東久留米市市民環境会議会議録

会議名	平成 22 年度第 3 回東久留米市市民環境会議	
日 時	平成 22 年 6 月 29 日(火) 19 時～20 時 15 分 於東久留米市役所 7 階 701 会議室	
出席者	出席委員数 12 名	欠席委員数 9 名 傍聴者 1 名
出席事務局職員	環境政策課長 同主査(政策調整担当) 同主事(生活環境担当) 同主事(みどりと公園担当)	
次 第	<p>開 会 あいさつ 出欠者の報告</p> <p>会 議 (1)会議録の確認 平成 22 年度第 2 回市民環境会議会議録(案)の確認 (2)事務局からの報告等 (3)環境フェスティバルについて(実行委員会報告) (4)その他 (5)部会活動(終了後、流れ解散)</p>	
配布資料	①平成 22 年度第 2 回市民環境会議会議録(案) ②東久留米市都市計画マスタープラン中間見直し 市民検討委員会委員名簿 ③東久留米市都市計画マスタープラン中間見直し方針	…資料 1 …当日配布 …当日配布
会議の内容	<p>(1) 会議録の確認 平成 22 年度第 2 回市民環境会議会議録(案)の内容を確認し、了承した。</p> <p>(2) 事務局からの報告 ①6 月 21 日に自治体や N P O 等による湧水の保全・復活に係る取組を促進させることを目的とした「湧水保全・復活ガイドライン」の冊子が届いた。環境省のホームページでも PDF 版で見ることができる。 ②6 月 19 日～20 日に第 14 回環境フェスティバルが開催された。アンケートは 19 日に 361 件、20 日に 460 件回答があった。7 月 21 日に反省会があるので来月詳細を報告する。 ③6 月 4 日に第 2 回湧水・清流保全都市宣言検討会議(P T)が開催された。環境審議会委員には、市民環境会議水とみどり部会でまとめた資料(抜粋)を送付した。アンケートも同封し、意見を寄せてもらう。 ④7 月 1 日付人事異動の内示があり、みどりと公園担当主査が配属される予定である。</p> <p>(3) 環境フェスティバルについて(実行委員会報告) 第 14 回環境フェスティバルが開催された。「2 日間で 2 千人を越す来場者があつ</p>	

た」「アンケートも 800 人以上から回答が寄せられた」「野外でのイベントも盛況であった」「企業からの出展も好評であった」「東久留米総合高校から 36 名のボランティアが参加してくれた」「ポスターコンクール受賞者へのインタビューを高田委員がやってくれた」等が報告された。

委員からは、市民環境会議のブース内で委員同士の連絡体制が上手く機能していなかった等の反省点が指摘された。

(4) その他

①座長が、市民環境会議を代表して「東久留米市都市計画マスタープラン中間見直し市民検討委員会委員」として出席している。座長より 6 月 23 日に開催された会議報告(方針、メンバー、スケジュール等)があった。

②委員から、湧水フォーラム全国大会が平成 18 年度は遊佐町(山形)、19 年度は越前大野市(福井)、20 年は五泉市(新潟)で開催されている。この企画者から、今年度は東久留米市で開催しないかとの話をいただいた。ぜひ実施したいと考えている。市の中で実行委員会を組織していくための準備会を立ち上げたいが、そのための呼びかけを市民環境会議座長名で行いたいとの提案があった。

「市民を盛り上げていくためのよいこと」「市制 40 周年や(仮称)湧水・清流保全都市宣言ともタイアップできる」「平成の名水 100 選の東久留米市を全国にアピールするチャンス」とする賛成意見。

「今年の 12 月は時期尚早である」「マンパワーが必要になるが、明らかに人出が足りない」「今は(仮称)湧水・清流保全都市宣言の実現に全力を注ぐべきである」とする反対意見が出された。

最終的には、提案者の提案どおり実施していくことになった。

③環境広報部会より、「ハチの注意を呼びかけるポスター」「昆虫採集をしたら、穴埋めを呼びかけるポスター」を昨年引き続き掲示していくとの報告があった。

全体会終了時刻 20 時 15 分

(5) 部会活動

部会活動を行った後、再度全体会を開くことなく解散した。

